



## テーマは「パワーサラダの祭典」 国産イタリア野菜の展示商談会を開催！

### 第7回「カンポプロバ in Tokyo 2017」

- 期日：6月6日(火)
- 場所：第一ホテル東京シーフォート
- 主催：トキタ種苗(株)
- 内容：イタリア野菜専門展示会・イタリア野菜生産者との商談会

### 北海道から沖縄まで27団体がイタリア野菜を出展！

イタリア野菜の流通・消費に係わる商談会「カンポプロバ in Tokyo 2017」が東京で開催され、市場や小売りのバイヤーなどおよそ300名が来場しました。北海道から沖縄まで27団体が出展し、各ブースでは最近注目される「カーリノケール(サラダ用ケール)」や「カリフロレ(スティックカリフラワー)」等を中心にさまざまなイタリア野菜を展示し、積極的に流通・飲食関係来場者との商談や全国の生産者との情報交換を行っていました。

今回は、アメリカで話題になっている、野菜、フルーツ、タンパク質(肉、チーズ等)、トッピング(ナッツ類等)を組み合わせシンプルなドレッシングで和えるスタイリッシュなサラダ「パワーサラダ」がメインテーマで、新鮮な国産イタリア野菜を使ったパワーサラダのバリエーションをビュッフェスタイルで試食をできるコーナーもありました。

### 本県からは「良農園」がイタリア野菜をPR！

本県からは前橋市の「良農園」が出展していました。この農園は、代表の伊能良雄いよくさんが7年前の定年退職を機に専業農家としてスタートしたのが始まりで、現在は11名のスタッフが、長ねぎ、タマネギ等を中心に、イタリア野菜や新野菜など年間約100種類を栽培しています。また、長男の友和さんも6年前に就農し、経営の一翼を担っており、ジュニア野菜ソムリエの資格や知識を生かして計画的な品目拡大に努めているそうです。ちなみに、この農園では、有機肥料を使用して栽培したたまねぎなど4品目が前橋市の「赤城の恵ブランド」の認証を受けています。

また、埼玉県からは、「さいたまヨーロッパ野菜研究会」が出展していました。本研究会は、H25年に発足し、現在11名の会員で、年間50種類のイタリア野菜を栽培しており、主に埼玉県内や首都圏のレストランに向けて販売しているとのことでした。



イタリア野菜展示の様子



生産者一覧マップ



試食の様子



「良農園」展示の様子



「さいたまヨーロッパ野菜研究会」展示の様子